

寺田縄子ども育成会 「^{まがたま}勾玉づくり」 (平成29年11月11日実施)

会場：平塚市埋蔵文化財事務所



今日は、土曜日、^{きゅうじつしゅつぎん}休日出勤の菅原さん、^{なかじま}中嶋さんが^{しどう}指導してくださいました。^{じゅこうじどう}受講児童の^{あいさつ}挨拶で^{たの}楽しみな^{かいし}勾玉づくりが開始されました。



中嶋さんから^{はなし}勾玉の話^きを聴きました。



菅沼さんから、勾玉を中心とした^{くびかぎ}首飾り^{みほん}見本^{しめ}が示され、
作るイメージがわかりました。



勾玉の見本、作り方が
^{しめ}示されています。



これが勾玉です。



1 2色の粘土が並べられています。
 少し硬めでしたが、手のひらにのせてもみもみすると軟らかくなり、
 色を混ぜ合わせることができます。



こちらは滑石の作り方見本です。
 長方形のピース表面に勾玉の形を描き、そこまでやすりで削ります。
 ⑦が完成形です。長方形の滑石から、勾玉が誕生します。



粘土か滑石かは、自分の^{せんたく}選択で決めます。



菅沼さんから滑石製の^{おそ}勾玉の作り方を教わりました。

滑石組が、作業を始めました。形を整えるのに力を入れ、真剣に紙やすりを動かして、滑石を動かします。



削りかすの白い山が出来ました。力を入れる指先が疲れて痛くなるほどでした。



こちらは粘土組です。色粘土を練り合わせ、ビーズのような粘土玉、管玉。
勾玉は中心より上の方に穴をあけ、ひもを通します。



作られた勾玉、ビーズ玉などはオーブンで30分焼かれます。
最後の作業は糸を通し、首飾りになります。



石膏組は、より滑らかにするため、形作られた勾玉を水の中で磨きます。

削られた勾玉の表面が、つるつる（半透明）になり完成です。

6年石原優行

正の字で!!

1. 1年正一 4年下
2年一 5年正
3年正正 6年下

2. わんとまが玉 共名 17

3. 始めの感想
2か玉と書いて作るの
ふつと作る人
かかいて作る人
手ぬいで作る人
大文字作る人
小文字作る人
ずいぶん作る人
合巻でマージル人
ネリレス見合いの人

終わりの感想
作って良かった
色かいておもしろい
うれしかった
色マゼ方がよかったです
おもしろい
おもしろい
たのしかった
おもしろい

上谷まなけ 4-2

1. 男子 10名
女子 15名

2. けずりまが玉
女子4名 男子5名 名

3. 始めの感想
楽しそう!
おもしろい
楽しい♡

終わりの感想
七ずかしくたげで楽しかった
たのしかった
かわいくつくれてよかった
またやりたい
した方をもうとまわりたいかたがた

6年の石原君、4年の上谷さんの二人が参加者の感想を聞き、記してくれました。

文字が小さいですが、お読みください。楽しかったと記されています。